

畠地かんがい推進モデルほ場設置事業 <公共>

令和8年度予算概算決定額 159百万円 (前年度 139百万円)

<対策のポイント>

モデルほ場の設置を通じ、畠地かんがいにおける多様化かつ高度化した土地及び水利用技術、作物栽培管理技術の確立とその普及を図ります。

<事業目標>

末端の畠地かんがい施設整備を円滑に推進し、事業効果を早期に発現

<事業の内容>

農産物の需要動向に対応した畠作物生産の合理化のため、モデルほ場の設置や技術試験の実施により、畠地かんがい技術の確立とその普及を図ります。

1 モデルほ場の設置

国営かんがい排水事業の受益地内においてモデルほ場を設置するため、農業用排水施設の新設又は更新、整地、土層改良、暗渠排水等の整備を実施します。

2 畠地かんがい技術試験の実施

畠地かんがい技術試験として、土壤水分測定や気象観測等の調査測定用器具の設置、調査測定試験を実施します。

<事業イメージ>



モデルほ場での土壤水分測定



レインガンによる給水



かん水資材（ハウス用）



左: 防霜かんがい区 右: 無かんがい区

<事業の流れ>

国

1/2等
→

都道府県